

No.	区 名	日 程	参加人数	意見カテゴリー													
				庁舎機能	庁舎規模	公民館機能拡充施設	木もれ陽の里	老人福祉センター	建物口外構等	交通	防災	コスト	スケジュール	事業全般	意見聴取	情報発信	
1	離山	9/4（水） 19:30～20:10	15	1		1		1		4	1	1	2	1		2	14
2	茂沢	9/11（水） 10:00～11:10	5	3	4	6		1		1		1	1	3	3		23
3	千ヶ滝中区	11/6（水） 11:00～13:00	5	4		4			1		1			2	1		13
4	新軽井沢	9/17（火） 19:00～20:00	23	2		1	5	2	3					2	1		16
5	油井	9/20（金） 19:00～20:00	12	1	2				1	1		3	1	1	1	4	15
6	大日向	9/21（土） 19:00～20:10	5	2	2	5			2			5		1	1		18
7	追分	9/24（火） 19:00～20:20	8	2		8					2	3	1		2		18
8	風越団地	9/26（木） 18:00～18:50	4	2			1	3	2	3							11
9	中軽井沢	9/27（金） 19:00～20:10	12			5		3	6	2		1		5	1		23
10	鳥井原	9/29（日） 10:00～11:00	7		1	1						2	4	9	1		18
11	馬取	10/2（水） 19:00～20:00	7	5		5	1			1		2	1	6	7	5	33
12	峠町	10/4（金） 17:30～18:30	8	3	1	1			1		3	4		5			18
13	千ヶ滝西区	10/5（土） 13:30～14:45	9	1		1				1	4	5		6			18
14	下発地	10/5（土） 19:00～20:25	16	2	2	3	1	2	14	1		3		6		1	35
15	杉瓜																
16	浅間台	10/6（日） 18:30～19:35	16	2		4			4			2		1			13
17	塩沢	10/7（月） 18:00～18:50	12	1	1	4		1	9	2		3	1	7			29
18	旧軽井沢	10/10（木） 10:00～11:10	5	2		2					1	1					6
19	南ヶ丘																
20	成沢	10/10（木） 18:30～19:40	17	2	1	1			7	1		2		5		1	20
合 計			186	35	14	52	8	13	50	17	12	38	11	60	18	13	341

21	小瀬	意見なし															
22	南軽井沢	意見なし															
23	古宿	意見なし															
24	星野	意見なし															
25	塩壺	意見なし															
26	借宿	意見なし															
27	三ツ石	意見なし															
28	上発地	意見なし															
29	ニュータウン	意見なし															
30	つくしヶ丘	意見なし															

区長会（区加入者）への意見聴取 意見一覧

（意見カテゴリーごとに整理）

【庁舎機能】

（機能集約）

- ・木もれ陽の里（保健センター）は役場に集約してほしい。
- ・保健福祉課を役場に1つに集約してほしい。
- ・役場だけで手続きが完了できず、木もれ陽の里に行くこともある。
- ・木もれ陽の里に保健福祉課は残すのか。また、教育委員会は本庁に戻すのか。
- ・保健福祉課は庁舎に移動するのか。
- ・保健福祉課は木もれ陽の里に出張所くらいであるなら良いが、病院近くにはないのは不便、一か所にしてほしい。
- ・木もれ陽の里にある保健福祉課はどうなるのか。
- ・保健福祉課、消防課、教育委員会は役場が狭いから外施設になっているので、新しい庁舎に集約してもよいのではないかと。
- ・外施設にある課は集約されるのか。
- ・手続きは役場で全部できる方がよい。
- ・教育委員会は役場に入るのか。
- ・子どもの関係の申請は、木もれ陽の里や役場、教育委員会とそれぞれ移動しなければならないが、解消されるのか。

12

（使いやすさ・分かりやすさ）

- ・御代田町は庁舎内の案内がしっかりしていて用事がスムーズに済むが、軽井沢町はこの窓口になにかがあるのか分からない。
- ・職員の仕事が出来ればよいと思う。ただし住民サービスは1階で済むようにしてほしい（小諸市のように2階に上がらないといけないのは不便）。
- ・見た目も大事だが、町民と職員が使いやすいものを造ってほしい。
- ・役場の庁舎（の内容）は職員が9割決めるべきである。職員が使いやすいものを建ててほしい。
- ・役場には頻繁に行く（住宅の手続き）。
- ・平面で窓口が分かりやすいようにしてもらいたい。
- ・機能性が良いのが一番理想である。
- ・景観より使い勝手を優先してほしい。
- ・紙が無くなると人との交流が無くなるのではないかと。
- ・移動市役所、スーパー、銀行、郵便局が合わせて（各区に）来てもらえるとよい。
- ・庁舎は働く人が使いやすいもの、住民が使いやすいものを建ててほしい。

- ・入るときにドキドキしない建物、窓口（入るときに注目されて気になる）にしてほしい。

12

（ソフト面）

- ・ソフト面で、同じ庁舎内でも縦割りで業務が行われており、窓口でたらい回しにされることがあるが、それを回避するための案内課が設置されている他市町村もあるので、そういったソフト面での改革も考えてもらいたい。
- ・役場に行ったときに窓口でたらい回しにされるので、他市町村のように担当職員が窓口に出向いてくれるような対応にしてほしい。
- ・建物の中身やソフト面の情報が入ってこないがどうなっているのか。
- ・ソフト面で使い勝手はどうなるのか。
- ・新庁舎が建つ際には、窓口の端末も考えなければならない。マイナンバーカードを活用した書かない窓口やスマホで完結する方法などを考えてほしい。
- ・ハード面も大事だが、ソフト面も大事で、職員の仕事が効率化され、住民が使いやすくなるようにしてもらいたい。また、データのセキュリティや通信もしっかりしてもらいたい。

6

（施設）

- ・庁舎のトイレを綺麗にしてほしい。
- ・窓口は座って落ち着いて話せるようにしてほしい（小諸、御代田のように）。
- ・公民館で子ども食堂をしているが、職員も利用者も使えるような食堂があるとよい。
- ・小諸市のような用事を済ませて少し立ち寄れる場所（カフェ等）があればよい。

4

（整備手法（ABC案））

- ・一体化案で役場と公民館の距離が近すぎると嫌なので、仕切り等で分けるなど適度な距離を保った方がよい。

1

35

【庁舎規模】

(狭小対応)

- ・執務スペースが狭くて職員が不憫である。
- ・執務スペースにしわ寄せがいく計画になっているので、もっと職員に寄り添った計画にしてほしい。
- ・現庁舎が建てられたとき（昭和43年）は、人口規模の割に大きな建物だと批判もあったが、今は手狭になっている。
- ・庁舎が手狭に感じる。
- ・今の役場は、職員が狭い中で仕事をしているので、スペースを取って働きやすくしてもらいたい。
- ・窓口も昔に比べてかなり前に出てきているし、来た人が圧迫されているので、庁舎を新しくすることは必要なことだと思う。
- ・人口も増えているため庁舎も大きくなって良いのではないかな。
- ・大日向地区だけを見てもどんどん新しい家が建っている。全国的に見れば人口減少かもしれないが、軽井沢町は増えていくので、大きな建物を建てても反対は起きないのではないかな。
- ・役場も公民館も会議室が少ないので増やしてほしい。（大・中・小ともに）
- ・町民としては、長く使ってもらえて職員が納得するものを建ててほしい。

10

(コンパクト化)

- ・デジタル化ですべて解決できれば建物を小さくしてもよいのではないかな。
- ・前の建物（前回の計画）ほどではなくてもいいと思う。

2

(整備手法（ABC案）)

- ・公民館と庁舎は同じ施設にあった方が共有スペースとして使えるのではないかな。
- ・公民館と一体（B案（一体化案））になると庁舎の面積は小さくなってしまうのか。

2

14

【公民館機能拡充施設】

(改修案)

- ・（公民館を）骨組みだけ残して改築してどのくらい持つのか。
- ・中央公民館の骨組みを存続した場合、どれくらい持つのか。
- ・庁舎建て替え、公民館を改修とした場合、公民館の耐用年数は大丈夫なのか。
- ・C案（公民館改修案）は柱を残すが、耐用年数はどれくらいか。
- ・改修したら何年使用できるのか。耐用年数を考えるなら新しく建てればいいのか。
- ・（中央公民館の耐久性）調査の結果で残す案が出てきたが、50年前の柱なので不安である。結局10年後15年後にやり直すことになるのではないか。
- ・改修の場合、姿形は変わらず、畳部屋が洋風になるといった部分しか変わらないのではないか。
- ・中央公民館が改修となると、床面積は今の建物と変わらないのか。
- ・中央公民館はどの程度の改築となるのか。
- ・C案（公民館改修案）は、柱を残すのはどこまでか。基礎までなのか。
- ・コスト削減のために柱を残すということだが、建てた後の使い勝手はどうなるのか。
- ・中央公民館の使い勝手が悪いので、建て替えてもよいのではないか。高かろうが基礎だけ残して建てても使い勝手が悪いものができてしまうのではない。

12

(諸室等（ホール以外）)

- ・公民館に多目的室が欲しい。
- ・人数制限もあるため第3会議室の大きさの部屋が増えるとよい（すぐ予約で埋まってしまうので選択肢を増やしてほしい）。
- ・エコール御代田内で、中学生が勉強しているスペースがあり、建て直すなら、子どものスペースがあってもよいのではないか。
- ・中学・高校生が勉強できる環境も整えられればよいのではないか。
- ・中央公民館が建て替わるならどのような設備が入るのか（例えばそば打ちの施設が常設されている、町民が使いやすいコンサート会場など）。
- ・観光客の日曜日などの交流スペースを設けてもよいのではないか。
- ・大講堂は新庁舎に造るのか。
- ・使う場所が少ない。
- ・どうせ町で建てるのであれば、使い勝手が良く、我々が楽しめる施設を建ててもらいたい。

9

(ホール)

- ・大賀ホールは敷居が高くて町民は使えないので、住民が楽しめるホール等の施設を建ててもらいたい。
- ・大賀ホールは敷居が高く、中央公民館も利用の仕方が変わってしまい、音楽ライブをするのに使いにくくなってしまったので、音が出せる施設があると尚よい。

- ・大賀ホールは敷居が高いので、映画鑑賞会等ができるようなホールが公民館にあるとよい。
- ・庁舎一体型だとホールの規模が小さくなるのではないかな。収容人数の希望調査等を取ってもらいたい。
- ・エコール御代田のようなホールを作る予定はあるのか。
- ・大賀ホールよりエコール御代田のほうが気軽に使える。
- ・中央公民館を大改築するのであれば、移動式の客席を考えていると思うが、新築と変わらないのではないかな。

7

(施設の考え方)

- ・中央公民館をメインに考えてもらいたい。役場も大事だが、災害などを考えると実務・使用率は公民館のほうが上ではないかな。
- ・庁舎よりも中央公民館に重きを置いて考えてもらった方が町民に寄り添っているのではないかな。住民が使うのはどちらかを考えてお金を使ってもらいたい。
- ・中央公民館の見直しについて、各種団体がいると思うが、区民会館との使い分けを考えた方がいいのではないかな。箱モノを作るだけでなく利用者を増やさないと意味がない。
- ・公民館はコミュニティセンターになるのか。
- ・中央公民館はそのまま残るのか。

5

(工事中の活動)

- ・中央公民館は工事中全く使えなくなるのか。使えなくなり、文化活動が止まるのは困る。
- ・中央公民館を改修した場合、改修している間の利用者の活動はどのようにしたらいいのか、どのようになるのかを町民に早めに説明をした方がいい。
- ・建築中に中央公民館での活動が制限されないようにしてもらいたい。
- ・建て替え工事の間、中央公民館が使えないタイミングが発生するのか。
- ・もし中央公民館が使えなくなったときに、各区の公民館に活動を一部委託するといったことも起こりえるのではないかな。旧軽公民館は建てる時にそのようなことになるかもということで建てているので、必要であれば相談してほしい。

5

(公民館のルール)

- ・中央公民館で飲食できないのか。
- ・軽井沢町にもエコール御代田のように時間を気にせず使える建物があるとよい。
- ・音を出すのがダメな部屋もある。
- ・各区の分館の扱いはどうなるのか（区が運営しているので、区民以外が使うときは料金がかかる）。
- ・千ヶ滝西区公民館は、コンサートや美術展的な使用ができるので有効活用できればよい。
- ・千ヶ滝中区は公民館がないため、千ヶ滝西区公民館を使用しようとすると、使用料を

求められることがあるので、住民がいつでも使用できるものを考えてほしい。

- ・ 公民館という名称にも問題がある。「夢のホール」等名称を変更すればコンサート等で利用したい人はたくさんいる。
- ・ 他地区の公民館を使うときは町が支援する等、各区公民館の利用率を増やせるように考えてほしい。

8

(場所)

- ・ 行きやすい場所に施設があれば中央公民館でなくてもよいが、各区からメンバーが集まるため、中央公民館の立地はベストである。
- ・ 風越公園を活用することも良いと思うが、週や月ペースで場所がコロコロ変わってしまうと利用者にとっては不便なので、予約した場所は固定がよい。
- ・ 柱しか残らないのであれば、場所もあの場でいいのか。

3

(整備手法 (ABC案))

- ・ B案 (一体化案) は、音や匂いの問題が解消できればいいと思う。
- ・ C案 (公民館改修案) は建物の形が今と同じ形になるのであれば、サークルの展示等ができるB案 (一体化案) がいいと思う。

2

(要望)

- ・ 区が小さくても公民館があってほしい。

1

52

【木もれ陽の里】

（現状の課題）

- ・（木もれ陽の里での）会議等の際に会議室が小さくて恥ずかしい思いをしたので、建物を小さくするだけでなく、ある程度の大きさをもった会議室を造ってほしい。
- ・社協の職員の話をする場所が廊下になっていたり、会議室もろくにない。
- ・木もれ陽の里も見直してもらいたい。利用者（高齢者）の多くが建物の裏道から入っている。

3

（交通）

- ・木もれ陽の里は行くのに交通渋滞で時間がかかる。
- ・木もれ陽の里は遠いので、役場でバスを出してもらいたい。
- ・木もれ陽の里は駐車場が少ない。

3

（施設の有効活用）

- ・保健福祉課が退けば空きスペースができるのではないか。
- ・木もれ陽の里の後利用はどうなるのか。

2

8

【老人福祉センター】

(施設廃止)

- ・老人福祉センターはなくなるのか（反対意見ではない）。
- ・老人福祉センターの解体が前提であれば、施設面はどうなるのか。
- ・老人福祉センターはどうなるのか。
- ・老人福祉センターは取り壊しになるのか。
- ・老人クラブ連合会役員として何も知らないのは困るので、説明してもらいたい。
- ・老人福祉センターはどうなるのか。

6

(介護施設)

- ・町民は、まさちゃん家、くにちゃん家を町がやめさせると考えているので、詳しい説明が必要である。
- ・まさちゃん家、くにちゃん家が無くなり、利用者の行き場が無くなっている。
- ・くにちゃん家、まさちゃん家がなくなるので、デイサービスが利用できなくなるのか（木もれ陽の里に行かないといけないのか）。

3

(入浴施設)

- ・団地のお風呂は小さく入るのがつらいため、老人福祉センターのお風呂に行っている。
- ・お風呂が無くなるのなら別の方法を考えてほしい。遠くから行く人のことも考えてほしい。
- ・老人福祉センターのお風呂に週2回行っている。藤巻町長時代にお風呂がなくなると聞いたので土屋町長を選んだ。

3

(福祉の考え方)

- ・「まさちゃん家、くにちゃん家が無くなる話を聞いていない。老人福祉センターも無くなる。町として福祉に関してはどのように考えているのか。」という意見をある町民から受けた。

1

13

【建物・外構等】

（駐車場）

- ・ 駐車場はどうか。
- ・ 駐車場はどこになるのか。
- ・ 駐車場はどうか。
- ・ 公民館利用者の車も多いから、役場との駐車場の位置も考えた方がいい。
- ・ 職員の駐車場はどこになるのか。
- ・ 軽井沢町は人口が増えているので、駐車場を減らすのはどうか。
- ・ 職員の駐車場はどうか。
- ・ 病院の駐車場は増やすのか。
- ・ B案（一体化案）の場合、公民館を壊せば駐車場になるのか。
- ・ 役場も病院の駐車場が常にかいている方が、利便性が良いのではないかな。
- ・ 軽井沢病院の駐車場は新しくなるのか。病院の駐車場こそ新しくしたらどうか。
- ・ B案（一体化案）・C案（公民館改修案）の来客用駐車場は大きくなるのか。
- ・ 駐車場を立体にするのはどうか。
- ・ 地下駐車場は廃止なのか。

14

（環境）

- ・ Z E Bをどこまでやるのか。
- ・ 太陽光を許容して取り組んでいくとよいのではないかな。
- ・ 今は太陽光パネルの新しい技術も出てきている。屋根ではなく窓に設置できるものも考えられるのではないかな。
- ・ 地中熱の利用は考えているか。
- ・ せっかく造るのであればちゃんとしたものを造って、環境やランニングコストに配慮したものを建てるのが良い。
- ・ 外堀断熱R Cでやるとなると100mm必要である。木造の緩衝材の方が効率良いのではないかな。
- ・ 軽井沢のカラマツを使ってほしい。木材を使えばS D G sにもなるし、庁舎のアピールにもなるのではないかな。
- ・ 木造のほうが軽井沢らしい。四角の建物で良い。旧案のような三角星形ではないものにしてほしい。
- ・ 柱は木造にする等技術的にも可能であるので、検討せずにコンクリートにするということはないようにしてほしい。

9

（外観）

- ・ 外観を格好良くする必要はあるのか。役場はお客さんを呼ぶ必要はない。
- ・ 外観を軽井沢町の風土（自然に溶け込んだような庁舎）にしてみたい。
- ・ B案（一体化案）とC案（公民館改修案）で外観の差はあるのか。
- ・ B案（一体化案）とC案（公民館改修案）の形はもう決まっているのか。

- ・発地市庭のような建物を想像していた。デザインにこだわりすぎているように感じる。
- ・四角の建物で良い。
- ・御代田みたいな形が良い。
- ・配置図は分かるが立体図は無いのか。
- ・建ててからのメンテナンスを考えて建ててもらいたい（国立競技場のように木を使うとメンテナンスが大変である）。

9

（高さ・階数）

- ・条例に合わせて建物の高さ制限を徹底してほしい（民間にお願いしているのだから役場は率先して守ってもらいたい）。
- ・庁舎も公民館も高さ制限を行って2階までの建物になるのか。
- ・議場も2階で抑えるのか。
- ・2階となっているが3階ではだめなのか。
- ・新庁舎は2階建なのか3階建なのか。3階の吹き抜けにすればコンパクトで面積を減らせるのではないかな。シンボルだから3階建にしてもよいのではないかな。
- ・高さは13mまでいいのではないかな。
- ・庁舎だから例外で高く建ててもいいのではないかな。
- ・建物の高さはどうなるのか。

8

（外構）

- ・できた当時は芝や木が綺麗に整っていても年数が経つと使いにくくなるので、30年後のことを考えて使いやすいものを検討してもらいたい。
- ・桜並木、紅葉、もみの木、シャクナゲなど季節で楽しめるようにしてほしい。
- ・ガソリンスタンドを最初に移動したが、跡地はどうなるのか。
- ・役場の一角の民家は、多少金額が高くなっても一括で町の土地にして、利便性をよくしたら良いのではないかな。
- ・役場庁舎と公民館の間に民家があるがどうなるのか。
- ・中軽井沢駅は安全面で課題（浅間石の壁面使用等）があった。デザイン性ばかりを重視しないで建ててほしい。

6

（整備手法（ABC案））

- ・富山市の総合庁舎へ視察に行ったが、新庁舎・公民館の一体型だった。
- ・B案（一体化案）は、庁舎と中央公民館のすみ分けが必要である。

2

（建設場所）

- ・ガソリンスタンドをどかしたのなら18号沿いに建物を建てたほうが良いと思う。
- ・木もれ陽の里（の空いている土地）に庁舎を建てればよいのではないかな。

2

50

【交通】

（進入路）

- ・役場に入りにくいが鶴溜線が広くなるのはいいことである。
- ・役場と病院の共有の入口が欲しい。
- ・役場の出入りが困難である（特に国道に出るのが困難）。
- ・役場から国道に出づらいのは解消されるのか。
- ・ガソリンスタンドができたことで、スタンド利用者の出入りにより軽井沢病院からの出入りが今までよりも大変になった。
- ・役場にはバスで行っている。
- ・（役場の入り口に）信号機はつくのか。
- ・信号ができるとうれしい。
- ・国道18号線に出るときに出にくいので、信号をつけてほしい。
- ・出入口はどこになるのか。交通量も多く、道路もどうなるのか。信号機は絶対必要である。
- ・信号設置は本当にできるのか。
- ・車の出入りが不便（信号がない）、歩行者（中学生、観光客）も多い。

12

（渋滞）

- ・渋滞は困る。
- ・役場から出て西に向かう場合に国道18号線が混んでいて出にくい、何か対策は考えているのか。
- ・車の出入りが不便である。役場から右折したいが出られないため左折して遠回りして帰る。
- ・車の動線はどうなるか。国道18号から出入りをするのは混雑（危険）を考えた方がいい。
- ・交通渋滞のことを考えると役場と病院を周回できるような道路にしてほしい。

5

17

【防災】

(考え方)

- ・ 防災に強い庁舎について、どのように考えているか。
- ・ 災害はいつ起こるか分からない。ハザードマップの火砕流に庁舎が含まれているが、庁舎の移転について、議会、検討委員会でどの程度議論されたのか。
- ・ 庁舎を建て直すにあたり、浅間山の噴火等防災面ではどのように考えているか。
- ・ 融雪型の噴火があった時に湯川が流されたことがあった。過去の災害から想定される職員、住民が避難できるようなものが必要ではないか。
- ・ 災害の観点から役場をそもそも今の場所に建てない方が良いのではないか。

5

(建物の強度)

- ・ 観光客が浅間山の噴火等で避難する場所について、東は軽井沢駅があるが、中や西はないが、庁舎が避難場所になりえるのか。これから造る建物なのだから、堅牢にする等よく考えてもらいたい。
- ・ 災害があったときに一番の拠点となるため、避難しても大丈夫な建物にしてほしい。
- ・ 新しく造るのであれば、シェルター機能を要した建物を建てたらどうか。
- ・ 中央公民館は災害の避難所になっているので、避難しやすい建物にしてもらいたい。

4

(各区の機能強化)

- ・ 各区の公民館も避難所としての機能強化をお願いしたい（備蓄品等）。
- ・ 峠町の避難所も建物がなくなってしまったので、整備してほしい。公民館もないので区長宅に集まるしかない。大雪の時など1週間近く身動きが取れなかった。道も行き違いができず、区民で整備した。建物が無くても個人宅で備蓄品を用意してもらいたい。

2

(要望)

- ・ 災害の時に使いやすいものにしてほしい。

1

12

【コスト】

（コスト抑制）

- ・見直しの原因として金額が争点になっていたが、実際は物価高などもあり大幅な経費削減にはならない。争点となった以上住民が納得する案を出さないといけない。建物は100年持たないのでどこかで変える必要が出てくる。人も減っていく中で建物も変えていかないと都市が成長していかないので、金額を抑えたものを建てるのが良いのではないか。
- ・見直す前の計画でもお金はかかっているのか。
- ・前にかかったお金が無駄になっている。
- ・軽井沢病院も赤字であり、庁舎造って赤字になっても困るのではないか。
- ・すぐ建つわけではないので、財源は大丈夫なのか。
- ・財源を確保していく中で税金が上がったり、手当が無くなることはないのか。
- ・建設費が増えることによって、町民の負担（増税）はあるのか。
- ・木曽町のように木製の庁舎で経費削減できるのであれば、そうすればよい。木を何層も重ねれば丈夫なものができる。
- ・30億で建てられるならそれがよいのではと考えてしまう。
- ・検討委員会を何回も開催して決まったのに、ひっくり返されてお金もかかっている。

10

（内容重視）

- ・町の財政を考えれば、金額が上がっても立派なものを建ててもいいのではないか。
- ・町の税收規模で考えると建てる時には思い切ってお金をかけて問題が起こらないようにしてもらいたい。
- ・110億円かかると言っていたものが80億円で済むと言われればそこに目が行ってしまうが、後から増築はできないので、最初からお金をかけるところにはかけて、職員も働きやすい建物を建ててもらいたい。
- ・110億円が町長選の争点になり、現町長は絶対110億円を減らさないといけないと思っていると思うが、お金を減らすために庁舎の規模を削減するのは違う。町民にとって使いやすい、防災に強い庁舎を考えてほしい。お金ありきの見直しは違う。使い勝手や利便性を重視してもらいたい。
- ・どうせ大きなお金がかかるのだから安さではなくいいものを造ってほしい。
- ・お金がかかっても住民のために使ってもらえるなら文句は出ないのではないか。
- ・値段ではなく住民が使い勝手が良いものでなくてはならない。
- ・使い勝手が良ければよいが、コストばかりを気にして使い勝手が悪いのは困る。
- ・補助金をできるだけ使って建てるのであれば、小さい建物を作るのではなく、金額が上がってもしっかりしたものを建ててほしい。お金だけ削減するのは違う。

9

（財源）

- ・他市町村は、補助金を使ってよい施設を建てているように思えるが、軽井沢町はお金があるため補助金がもらいにくいのではないか。

- ・国とか県の補助金があるが面積を圧縮することによって補助金も圧縮されてしまうのか。
- ・予算はどこから持ってくるのか（県補助事業・基金・起債）。すでに基金が貯まっているということなのか。
- ・起債と償還について、新庁舎の償還期間をどれくらいで想定しているか。

4

（スピード感）

- ・物価が上がるなら早く建てて欲しい。
- ・1年で1億以上上がっている。建築の職人はどんどん減っているので早く決めて早く建ててほしい。
- ・建物は60年でペイできるとしているが、建てる時間がかかると今の見込みより高額になるのではないかな。
- ・能登の地震もあり建設費はもっと上がっていくので、早く建てたほうが良い。

4

（整備手法（ABC案））

- ・誤差の範囲でB案（一体化案）・C案（公民館改修案）はそんなに（コスト面で）変わらないのであれば、新しい方が良いのではないかな。
- ・建て替えと改修を比べると建て替えてしまった方が安いという場合もあるので、建て替えた方が良い。
- ・B案（一体化案）とC案（公民館改修案）それぞれ概算でどのくらい費用がかかるのか。

3

（疑問・質問）

- ・予算について、物価高もあると思うが、令和11年の試算はどのように考えているか。
- ・地下にするとコストがかかるのか。（シェルターもかねて地下にすればよいのではないかな。）
- ・新庁舎の費用は建設費の上昇もあるが、資料に載っている金額で抑えられるのか。
- ・御代田町はいくらで建設したのか。
- ・物価高もあり負担（コスト）だけ上がって建てるとなると意味があるのか。
- ・町長選で110億が争点になっていたが、物価高で110億はかかってしまうのではないかな。
- ・私有地を買うとなると費用はどうなるのか。
- ・民有地の購入金額は概算に入っているのか。

8

38

【スケジュール】

(スピード感)

- ・令和11年に新庁舎完成と聞いてがっかりしている。早くやってもらいたい。
- ・一刻も早く造ってほしい。
- ・長引かせないで早期にやってほしい。
- ・話を聴くのもよいが、迅速に進めてもらいたい。
- ・早急にB案（一体化案）でやるべきと考える。
- ・早く建ててしまえばよかった。

6

(疑問・質問)

- ・道路整備は先に工事をするのか。
- ・設計までできているのか。
- ・ABC案はどのように決めるのか、また、いつまでに決めるのか。
- ・令和11年に開庁というのは知らなかった。
- ・C案（公民館改修案）について、役場も公民館も建て替え時にも使えるのか（共用部分は使えるのか）。

5

11

【事業全般】

（基本情報）

- ・庁舎の建て替えの根本的な必要性を教えてください。
- ・庁舎と中央公民館は別で建てるのか。
- ・そもそも建て替えの見直しはなぜやったのか。
- ・B案（一体化案）はすべて構築するのか。
- ・今の場所に建設するのか。
- ・C案（公民館改修案）は庁舎と公民館は分棟になるのか。
- ・旧計画のどこが悪いのか、新しい計画と何が変わっているのか比較できるようにしてほしい。
- ・前町長の検討委員会について何も音沙汰がないがどうなっているのか。
- ・将来の人口減少、30年後50年後の人口の推測はできているのか。
- ・軽井沢町役場は職種ごとの人員は足りているのか。
- ・前町長時の100年構想（グランドデザイン）との関係はどうなるのか。
- ・ABC案の決定権は町長なのか、議会なのか。
- ・前の計画の金額より高くなるのであれば公約違反となるので、町長は辞めるのか。また、議員もやめるのか。
- ・冷暖房の燃料はどうなるのか。
- ・まるや食堂は残るのか。
- ・整骨院の土地も買うことができるのは大きい。
- ・民有地を手に入れられるのは良かったのではないのか。
- ・敷地は確保されているのか。
- ・庁舎と公民館を一体化するメリットは何か。

19

（整備手法（ABC案））

- ・B案（一体化案）でいいと思う（中央公民館を利用しながら新築できるのはとてもいい）。
- ・B案（一体化案）で新しい建物にするのが良い。役場と一体となれば今の公民館のスペースが空くので他の事業の検討ができるのではないのか。
- ・造るのであれば、一体化してちゃんとしたものを建ててほしい。
- ・B案（一体化案）にして、別で中央公民館を残して利用しながらやっていくのも一つの方法だと思う。
- ・複合施設にすると使い勝手はどうなるのか（長岡市などは参考にしたか）。公民館と別にした方が良いか。
- ・体制的にB（一体化案）・C案（公民館改修案）はどちらが多いのか（本会場では、参加者12名のうち、B案（一体化案）推しが2名、C案（公民館改修案）推しが10名であった。）。
- ・庁舎と中央公民館を一体化するのは難しいのではないのか（都内でも別々に建てている）。

- ・改修は手間がかかる（人件費、材料費等）。
- ・社協やボランティア団体、NPO法人等が活動しやすい施設が必要である。公民館を建て替えるとするC案（公民館改修案）の考え方はどうなのか。
- ・B案（一体化案）、C案（公民館改修案）どちらにするのかの決定打はあるのか。
- ・町としてのおすすめの案は何か。
- ・予算はかかるかもしれないが、それを超えるメリットがあると思うので、B案がよい。

12

（賛成・応援）

- ・新庁舎ができることを期待して待っている。
- ・全体的に庁舎は建て替えることは賛成である。中央公民館は建て替えではなく、住民交流センター・社協など住民を主体とした施設を（新たに）建てると考えてもらいたい。
- ・庁舎の建設はしていいと思う。
- ・60年経っているので建て替え必要。町として新しい建物を建ててほしい。建て替える時期に来ている。
- ・町長に変わらないでくださいと伝えてほしい。
- ・色々な問題が出てくると思うが、最終的にできるだけ問題が少ない状態で進めてほしい。

6

（設計者）

- ・設計者はそのままなのか。
- ・設計者は改めて決め直すのか。
- ・設計者は一度決まった設計を変えられないのではないのか。
- ・建築・設計士は変わらないのか。
- ・プロポーザルの説明をしてほしい。
- ・リセットしたはずなのに当初のプロポーザルの設計者が引き続きやっているのはどうなのか、変えなかったのはなぜなのか。別の設計者にすることができなかつただけではないのか。

6

（建築の考え方）

- ・どうせ造るならば、いい施設を建ててほしい。中軽井沢の図書館も他の自治体から視察が来ている。特色のあるものを建ててもよいのではないのか。
- ・今の建物も50年近く経っていて手すりなど痛んでいるところもある。建てることに反対しないが、これから建てるものはこの先50年使っていくものなので、使い勝手が良いものを建ててほしい。
- ・コストを減らすことで材料が悪くなってしまうのも問題であるので、良いものを建ててほしい。
- ・軽井沢を代表する建物になると思うので立派なものを建ててほしい。
- ・景観大賞を目指してほしい。

5

(要望・意見)

- ・建設時は町内業者を使ってもらいたい。
- ・社食はできるのか。町民が使えるものが欲しい。
- ・着工のタイミングで町長選があるため、再度事業がやり直しにならないでほしい。
- ・成沢は役場から遠い。
- ・都心の建設業者が軽井沢町の気候等が分かっているとは思えない。
- ・社会情勢や要望に対応した庁舎を建ててもらいたい。
- ・今のスペース（キャパ）で収納できるのか。車が増える可能性もあるため、他の土地で建てることも考えたかどうか。
- ・前の計画は地下に駐車場を配置する計画もあった。金額だけでなく利便性も考えていたがカットされている。
- ・（事業を進めるのに）尻込みしているのではないか。
- ・ごたごたやっているから町長が変わることになっている。
- ・（事業を進めるのに）弱腰になっている。
- ・建てるなら強気で進めた方がいい。

12

60

【意見聴取】

（意見の反映）

- ・ 私たちの意見は、少しでも反映してもらえるのか（コンサートホール等）。
- ・ 見直し前の計画時に出了た110億円の数字が選挙の争点になったが、新しい方針は庁舎を小さくする案が出ている。設計者が変わらない中で、（今回の意見聴取の場合は）住民の話を聴くだけなのか、意見は反映してもらえるのか。
- ・ 検討委員会や町民の意見を聴いているが、どこかに反映しているのか。
- ・ （ABC案を）今年中に決めるのであればあと数か月しかないが、結果的に町長が決めるのであれば、今から意見を言って反映されるのか。話が来るのが遅かったのではないか。
- ・ 区を回っているが、話したことは反映されるのか。
- ・ 前回の計画時に要望を聞いているのであれば、それも取り入れて欲しい。
- ・ 中軽井沢駅の建て替え時に意見聴取の機会があったが、聴くだけで反映されなかったので、そういうことが無いようにしてもらいたい。

7

（意見聴取の頻度）

- ・ 町民の意見を聴くのは良いが、ずっと聴いているのではないか。いい加減進めてほしい。聴けば聴くほど見直しが出てきてしまうのではないか。基本の考え方がしっかりしていればよいのではないか。執行側が腹を決めて進めてもらわないと、聴けば聴くほど混乱するのではないか。
- ・ まだこんなことやっているのかと思っている。
- ・ 話をしないと分からないが、話すに興味をわいてくるので、この取り組みは良い。
- ・ 前計画の時に今回のような区ヒアリングをやっていればよかったのではないか。
- ・ 工事着工の令和9年度までは説明会や意見交換会は行うのか。

5

（要望・意見）

- ・ 前町長の時から新庁舎の事業の話はあったが、今やっていることを聴くと前の計画と同じことをやっているように感じる。人員が無い中で新しい課を作ってやっているが、現町長はどうしたいのかをまず説明してから意見を聴くのが筋なのではないか。
- ・ 使う人の話や問題点を聞いてもらえていないまま今の話が来てしまっているのが不安である。
- ・ 子供たちがミュージカルなどできる建物が一つもなく、他自治体のホールを使っているの、中央公民館をどのように発展させるべきかを利用者に聴いてほしい。
- ・ 今日は町長が来ると思った。せめて課長が来るべきではないか。
- ・ 推進委員会を傍聴に行っても意見ができない。
- ・ おしゃべり会の内容が、横文字が多くて難しい。

6

18

【情報発信】

(発信の工夫)

- ・ホームページを見てない人もいっぱいいるのはその通りだと思うので、区をもっと活用してほしい。

1

(要望・意見)

- ・情報をもっと発信してほしい。
- ・町長の意見がどうなっているのか、検討の結果を情報発信（回覧板で回覧）してほしい。
- ・DXもそうだが、デジタルが使えない人たちにも差別なく情報を発信してほしい。
- ・（庁舎を）一番使う職員が意見をもっと発信するべきである。
- ・借金が次の世代に先送りにならないように、ランニングコストや数字をしっかりと出してほしい。
- ・広報紙の記事をよく読んでいる。
- ・メール配信で委員会の傍聴の案内が良く来るが、気が引ける。
- ・建設業者の情報や発信をしっかりともらえれば文句を言わないのではないかな。
- ・意見交換会の実施について発信しているが、なかなか人が集まっていないのではないかな。
- ・窓口に行く前に情報を知れていない。
- ・区によってはデジタルや庁舎といわれてもピンとこない人もいる。
- ・町のホームページにどういう情報があるのか分からない。

12

13

※現段階での条件を元に検討した内容のため、今後、変更する場合があります

凡例
：庁舎
：公民館機能拡充施設
：共用部

	A 案		B 案		C 案	
配置イメージ						
■ 重みづけ評価 庁舎・公民館の建替え計画について、 ◎○△の3段階評価で重要度をご記入 ください						
建物面積	新築面積： <u>11,000 m²</u> + 公民館解体：2,500 m ²		新築面積： <u>8,500 ～ 10,000 m²</u> （新庁舎・公民館一体による面積の合理化） + 公民館解体：2,500 m ²		新築面積：6,000 ～ 7,500 m ² （新庁舎・一部の公民館一体による面積の合理化） + 公民館改修：2,500 m ² = <u>8,500 ～ 10,000 m²</u>	
① 建替え時の影響	○	庁舎、公民館とも使いながらの建替えが可能。ただし、既存庁舎の解体後、公民館の着工となるため、公民館の完成が遅れる	◎	庁舎、公民館とも使いながらの建替えが可能であり、同時に完成できる	○	庁舎、公民館とも使いながらの建替えが可能。ただし、既存公民館の改修工事が発生するため、改修中は既存公民館（2,500 m ² 分）が利用できない。一方、新築部公民館機能 1,500 m ² 分は新庁舎と同時に完成するため、その部分については利用できる
② 脱炭素社会への貢献度	△	新築の面積が最も大きく（新庁舎・公民館 11,000 m ² ）、また、既存公民館を解体するため、CO2 排出量が最も多い	△	新庁舎・公民館 10,000 m ² 全てを新築し、また、既存公民館を解体するため、CO2 排出量が多い。ただし、A 案と比べると新築面積が小さい分、CO2 排出量はやや少ない	◎	既存公民館 2,500 m ² の構造体分の新築・解体工事を削減できるため、CO2 排出量を抑制できる
1.CO2 排出量						
2.炭素の固定化						
③ イニシャルコスト指数 (当初の基本設計時を100として面積換算)	△	88	○	72 ～ 80（建築面積による）	◎	67 ～ 76（建築面積による）
④ ライフサイクルコスト指数 (A案を100として算出)	△	100	○	79 ～ 91（建築面積による）	○	78 ～ 91（建築面積による）
⑤ 町としての検討の優先度	低		高		高	

自由記述欄

A・B・C案の使いやすさや快適性など(定性的な要素)の検討

凡例
[色]：庁舎 [色]：公民館機能拡充施設 [色]：共用部
①及び②の1～4は基本方針に記載の項目。下線は、基本方針から変更した箇所を示す。

配置イメージ		A	B	C
■重みづけ評価 庁舎・公民館の建替え計画について、 ◎○△の3段階評価で重要度をご記入ください				
①国道への顔づくり		○ 国道に面して公民館が配置でき、それによって公民館の町民活動が国道から垣間見え、その賑わいが「新しい顔」となる	○ 緑あふれるオープンスペースが「緑の庁舎」としての顔となる。また、オープンスペースの中に、新しい機能(WSで議論)を計画することも可能	△ 既存公民館側に建物が寄る配置となり、国道18号から遠くなりやすい。また、国道側にまとまりのある駐車場を計画せざるを得ず、湯川ふるさと公園との連続性がB案に劣る
②計画の自由度				
1. 平面計画の自由度・柔軟性		△ 分棟のため、エントランスや廊下、WC等の共用部を双方に計画する必要があり、スペースの合理化や双方の連携利用などの計画が難しい等、計画の制限を受ける	◎ 新庁舎・公民館が一体のため、共用部(エントランス・廊下・WC等)の相互利用ができ、スペースの合理化が可能。それによって生まれるスペースを活かすこともでき、計画の自由度・柔軟性が最も高い	○ 新庁舎・一部の公民館(2,500㎡分)は一体のため、計画の自由度・柔軟性は十分あるが、B案と比べるとやや劣る。また、公民館面積が小さくなるとスペースの合理化が難しくなる
2. 庁舎と公民館の往来のしやすさ		△ 分棟のため、一度外に出る必要がある。ただし、庇を設けて接続させることで、雨に濡れずに往来できる。南北に細長く、庁舎から公民館への移動距離が長い	◎ 一体型のため、内部廊下での接続が可能。庁舎と公民館が近く移動距離を短くできる	○ 新庁舎・一部の公民館は一体型のため、内部廊下での接続が可能。ただし、既存公民館とは2階連絡通路(屋内)での接続となる
3. 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ		△ 分棟のため、施設間の相乗効果は生まれにくい	◎ 一体型のため、「公民館活動が庁舎から見える」「オープンスペース等を相互利用できる」等、相乗効果が生まれやすい	○ 新庁舎・一部の公民館は一体型のため、相乗効果は生まれやすいが、B案と比べると劣る。また、公民館面積が小さくなると相乗効果は生まれにくい
4. 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ		◎ 分棟のため、明確な機能区分ができ、用途に合わせた運用がしやすい	△ 一体型のため、明確な区分が形成しにくく、運用が煩雑になりやすい	○ 「新庁舎・一部の公民館は一体」と「分棟の既存公民館」で構成されているため、機能区分は可能だが、A案と比べると、やや明確さに欠ける
5. 音・匂いの出る室の配置のしやすさ		○ 機能に合わせて2棟に別れており、配置しやすい	△ 庁舎機能と公民館機能の距離が近いと、音・匂い対策の工夫が必要	◎ 音・匂いの出る諸室を公民館改修部分へ配置することで対応可能
③駐車場(P)の配置		△ 北側にまとめることができるが、駐車場から公民館への移動距離が長い	◎ 北側にまとめることができ、建物へも近い	○ 病院北側と町道鶴溜線沿いに分散配置となるが、建物へは近い
④病院との関係				
1. 平面計画の自由度・柔軟性		○ 病院と庁舎の間に広場を設けることが可能	○ 平面が南北に延びることで、病院との間に広場を作ることが可能	○ 配置を現公民館に寄せる必要があるが、病院との間に広場を作ることが可能
2. 病院から浅間山への眺望		△ 建物が西側に寄るため、眺望を確保しやすい配置。屋根形状により浅間山が見えないため、改④が必要	△ 一部の屋根の高さを抑えることで、山頂部が見えるが、改④が必要	△ 一部の屋根の高さを抑えることで、山頂部が見えるが、改④が必要

庁舎改築周辺整備事業 「整備方法（一体化案・分棟案・公民館改修案）」に関する意見交換会 重み付け集計

1.大事だと思う観点について◎○△で評価（重み付け）				
コストやエネルギー性能など(定量的な要素)				
重み付け	◎	○	△	不明・未記入
① 建替え時の影響	5	4		2
② 脱炭素社会への貢献度				
1.CO2排出量	4	5	1	1
2.炭素の固定化	4	4	1	2
③ イニシャルコスト	5	5		1
④ ライフサイクルコスト	7	3		1
使いやすさや快適性など(定性的な要素)				
①国道への顔づくり	2	3	4	2
②計画の自由度				
1. 平面計画の自由度・柔軟性	5	2	1	3
2. 庁舎と公民館の往来のしやすさ	5	3		3
3. 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ	5	2	1	3
4. 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ	1	4	3	3
5. 音・匂いの出る室の配置のしやすさ	4	4		3
③駐車場(P)の配置	3	7		
④病院との関係				
1. 平面計画の自由度・柔軟性	2	6	1	2
2. 病院から浅間山への眺望		3	6	2
その他				
金額	1			
職員の働きやすさ	1			

※色付け（オレンジ色になるほど数が多く、緑色になるほど数が少ない。）

【庁舎機能】

（使いやすさ・分かりやすさ）

- ・職員の働きやすさも大切。
- ・職員が使いやすいように考えて欲しい。
- ・建物の中から外がみえるよさ（職員の心理面等）もあるので検討してほしい。

【公民館機能拡充施設】

（工事中の活動）

- ・（施設を使えない期間の代替としての）民間の借上げに助成金を出すとよい。
- ・建替え時の影響については、やはり公民館の活動を停滞させないという観点が重要。

【老人福祉センター】

（施設廃止）

- ・老人福祉センターの活動中断しないようにしてほしい。

【建物・外構等】

（駐車場）

- ・駐車場の配置について、最重要項目ではないが、関心は高い。
- ・災害時に有効に使えるスペースとなる。
- ・ハンディキャップのある方などへの配慮が大切である。

（環境）

- ・ＺＥＢの目標を明示すべき。
- ・「要は建物を壊すか残すか」だけではないか。

（周辺との調和）

- ・国道への顔づくりについてはあまり重要視していない。特に湯川との連続性などについては、現実的に難しいのではないか。
- ・病院との関係性について、施設の一体性については重要ではあるが、病院からの浅間山の眺望についてはあまり重要でない。

【コスト】

(コスト抑制)

- ・金額抑えてほしい

【事業全般】

(整備手法 (ABC案))

- ・A案は、そもそもの議論から外して欲しい（水害面からも）。
- ・B案は、設計の自由度や工事中も利用可能な点においてよい。
- ・（両施設が）近いからこそその良さがある（B案がよい）。
- ・C案は、イニシャルコストが低いことや、環境への配慮、将来の変化に対応できる建物（人口減少等で減築しやすい）の観点でよい。
- ・使える施設はしっかり使うべき（C案がよい）。

(アドバイザー)

- ・アドバイザーはしっかりとコンストラクションマネジメント（予算・工期・品質）を見て欲しい。

【意見聴取】

(意見の反映)

- ・公民館機能拡充施設の検討については、より具体的な内容を話し合う場が欲しい。
- ・こういった場は必要である。

(意見聴取の頻度)

- ・意見聞きすぎ感がある。

	区長会意見と整備方法検討会の報告をご覧になったの意見	現時点での整備方法に関する意見（どの案が良いかの言及も含む）	推進案
①	推進委員会での議論が周知されておらず、情報の共有が必要であり区民の皆様からの疑問には、返答をしっかりといただきご理解いただきたいと思いました。 整備方法よりも、公民館機能拡充施設の使いやすさ、全ての人の憩いの場所、生涯学習の場所、健康増進の場所として何が必要なのか？子育て支援も含め、防災の避難場所として公民館施設の整備は必要であり、安心安全に暮らせるように、町全体の公民館も含めてすべての人が利用しやすい整備を検討していただきたいと思いました。	どの案にしても、起債前提であり、50億以上借金を若い世代に負担していただく施工は、私個人としては賛成できませんが、40億の予算内で庁舎に関しましては、できるだけ早く施工していただきたいと思っています。 将来を見据えて、コスト管理は大切であり、ライフサイクルコストについては、本来第三者が出すべきであり、中央公民館をリノベーションしたら、解体して新築するより安価で済むはずです。中央公民館は、1000万かけた調査により、65年使用可能であると報告されています。解体して廃材を出し、軽井沢病院に入院されている方や近隣住民の方は、解体作業の騒音に何か月も悩まされる事になるので、簡単に解体すべきではないと思っています。できるだけ今ある施設を最大限使用する選択肢をきちんと話し合ってください。リノベーションして長く使用することが、大切だと思っています。 超高齢化社会の中、高齢者の方が軽井沢町に住み続けられるように暮らしている方に寄り添ったまちづくりを希望します。 また、子育て世代の方の少しでも力になれるような、地域で見守り支えられるようにすべての公民館施設の見直しも必要だと思います。	C
②	・老人福祉センターの今後の施設について説明が必要と思う。 ・保健福祉課、教育委員会を新庁舎に集約の検討の必要がある。	・B案の一体型で良いと思う。 ・これ以上の検討会は必要ないと思う。一日も早く新庁舎が完成する事を願っております。	B
③	181名の参加者の方々のご意見を何度も読み直ししました。これまでのパブコメ、おしゃべり会、建築説明会等のご意見、質問と同じものもありましたが、日頃公民館を利用されていることから、中央公民館に関するご意見が多いと思いました。また旧軽の方から、中央公民館が使えない間、旧軽の公民館に活動の一部を移せるよう建て替えてあるので、必要であれば相談してほしいという声があり、大変ありがたいと思いました。 ただ以下の点は気になりました。 ① 各区の参加者数と意見聴取数が必ずしも比例していないのは、聴取者の裁量によるものなのか。 ② 意見カテゴリーごとの整理に、黄色と青色マーカーがされていたが、その意図が分からない。他にも同様の意見があるなかで、なぜこれらを特にマークしているのか。 ③ 中央公民館と各区の公民館との連携などに言及がなかった。30区の中で6区が自前の公民館を持っていない、浅間噴火よりもはるかに発生確率が高い土砂災害に対する地域の態勢作りのためには、大きな課題が積み残しされていないか。 私の区ではこの夏、外資系企業によるキャンプ場計画がもちあがり、近隣の町民、別荘民が協同して立ち上がって計画撤回に至らせました。その経験からも、町民と別荘民との情報交流拠点の必要性を強く感じています。また小規模な災害の場合、町民、別荘民の別なく、支援物資や情報を容易に入手できるよう、「地区の公民館」に備蓄できる環境づくりが求められると思います。行政機能の集中と分散について、もっと現場に近いところでの議論があって然るべきではないでしょうか。	まず大前提として、現町長の公約と言っても良い「<u>機能的・コンパクトな施設計画により、建設コストを抑制すること</u>」を挙げたいと思います。そして軽井沢町が「<u>環境都市</u>」としての矜持を保つには、スクラップ＆ビルドは選択すべきではないと思います。 今や日本政府も環境政策のために、例えば ZEB(二酸化炭素排出ゼロ)実現のための ZEB Ready (50%削減) 補助金は、新築（改築）で1/3、既築（改修）で2/3としています。これからは、特に公共建築においては、いかに建物の寿命を延ばし、廃棄物を減らすかが求められる時代なのです。 軽井沢を代表する建築家で吉村順三という方がおられます。最近、55年前に彼が100万円で箱根に建てた10坪の家の保存が話題になりました。建築界では、金に糸目をつけない建築が高い評価を得るわけではありません。逆に予算という制約がある中で、いかにより美しく説得力のある建築を実現できているかが、プロフェッショナルな人々の間では評価されます（もちろんそれには、求められる機能とスペースが満たされていることが前提条件です）。その意味で、建設費をケチったら良い建築を期待できないというのは、プロの力量を見くびっていると私には思えるのです。 そしてそのような建築を実現するにあたって、建築家は「説明を尽くす」ことが非常に大事です。なぜこれだけの費用がかかるのかから始まり、施主のとりとめない希望や夢を整理して、何を実現すべきなのか、専門家の立場から理にかなった説明を行うことが、彼らの職能なのです。 ただ残念ながら本計画においては、これまで寄せられた数多くのコメントに対して、町役場（+設計者）から十分な説明がなされてきたとは言いがたい状況です。そして今回出された ABC 案の比較表も（その根拠が客観的データとして明示されていないので）信頼性に若干の疑問符がつくため、これをベースに建築を専門とされていない方たちの判断を求めるのは、筋道としていかなものかと思います。 私は ABC 案の中では C 案を選択すべきと思いますし、建築界の友人に意見を求めても C 案が選ばれます。その理由は明解です。 1. より環境に優しい 2. よりコストがかからない 3. より将来の自由度が高まる 1については言うまでもなく解体に伴う廃棄量が圧倒的に少なく、2については既存の建物を利用することで建設費が抑制され、3は分棟化によって将来利用に対応できる可変性を残すことができるからです。	C

	特に私が三浦/山下 JV と意見を異にするのは改修工事費で、当初三浦/山下 JV は改修であっても平米70万（坪231万）とし、今回若干下げてきましたが、私は MAX50万(坪165万：既存の中央公民館を一部使いながら改修を進める場合は高くなるため)と考えており、見積もりに大きな開きがあります。その理由は、もし今後も三浦/山下 JV が設計業務を受託した場合、施工は別企業になるためと思います。建物の新築工事に比べ改修工事は施工段階での裁量に大きく幅があり複雑で、施工を負わない設計のみの企業では完全なコスト管理と工程管理が難しいためです。設計施工（デザイン&ビルド）では監理がしにくく工事費を高くされると誤解されますが、契約時に総工費を決めてあれば、社会的信用力のある企業であれば契約はきちんと守られます。逆にデザインとビルドが別々の場合は、できる限り上限に近い施工単価を設定しておいた方が、設計側が負うリスクを減らすことができるとも言えます。 比較として、日建設計によって2007年に竣工した木もれ陽の里の事業単価（建設費に諸経費がプラスされた総事業費）は、温泉装置など事業費のアップ要因も含め、坪あたり127万でした。それから建設費が値上がりし1.6倍になったとしても木もれ陽の里は坪203万で、今回の庁舎・公民館整備の290万（ZEB 設備費と用地取得費を含めなくても）とは大きな開きがあります。今回の庁舎周辺整備は、建設費高騰に対してのリスク・ヘッジが過剰にされているというのが、私の感想です。 そして C 案分棟化のメリットとして、60年後の今よりはるかに情報化が進んだ未来において、不要となった庁舎・公民館機能の用途変更に対応しやすいことがあります。既に木もれ陽の里では、社会福祉課の一部が中央公民館に移った場合、5680平米の空間に一部空きが生まれてしまいます。もしこれがいくつかの棟に分かれて廊下でつながっていれば、利用しなくなった棟は全く違った使い方ができたでしょう。合理的なデザインで世界をリードする北欧では、人口動態によって変化しやすい高齢者施設や保育施設はプレハブです（日本のプレハブのイメージではなく、移設しやすい建設システムのこと）。本計画のプロポーザルではそのような複数の分棟案を出していた設計事務所がありました。LCC の保全コスト（維持管理費や修繕費）の比較において C 案が B 案に劣るというのは、60年間の綿密なシミュレーションをやった上でないと言い切ることはできないのです。例えば B 案でも、大きな庁舎・公民館にすると、床面積では捉えきれない空間の大きさ（例えば大屋根）で LCC の保全コストがあがります。今回の建設予算は積立金では間に合わず、MAX50億円の借金を将来世代に残すことになっています。ならば尚更、60年後の軽井沢住民からも高い評価を受ける施設にしておくことが、今の私たちに課せられた義務だと思うのです。 次に C 案のデメリットを考えてみます。 1. 改修工事中公民館が利用できない 2. 庁舎（＋一部の公民館機能）と公民館が分離されてしまう 3. 改築庁舎と改修公民館の建物の一体感が生まれない 1については、以下の対応策が考えられます。 ・新築に比べ改修工事は工事期間が短いので、その間は隣の高齢者福祉会館や他の町の施設を利用していただく（先に庁舎棟が建っているときは、その公民館機能スペースも利用できる）。 ・工程の取り方によっては、部分的に改修を進められるので、思ったほどの不便はない（多くはこの方法をとります。マンションでは大規模修繕中も住民は住み続けています）。 2についてです。私の提案は、庁舎と公民館の2棟間を幅広のブリッジで結ぶことです。よく町の施設では待合スペースに、地元住民・生徒の作品が掲示されていますが、理由の一つは独立した展示室ではほとんど人が来ないからです。必ず人の往来があるブリッジは、期せずして絶好の展示スペースとなります。 さらに公民館が独立することで、庁舎と一体では難しい大きな音が出る演奏会やダンスなど、パフォーマンス系の発表も心置きなくできることとなります。匂いの問題がある調理教室も同様です。 3についてです。確かに建設年も設計者も異なる建物が、完全に一体化できることはありません。ただしそれを逆手にとって、一部の外装の色を統一したり、ベランダやバルコニーを改築部分と同調させることなどによって、単調でない変化がある景色を生み出すことができます。まさにここそ建築家の意匠デザインの腕の振るい所です。 B 案にはデメリットはないのでしょうか。	
--	--	--

		1. 音や匂いの出る施設は同居しにくい。 2. 庁舎だけでなく議会棟とも同じ建物になるため、両者のセキュリティが難しい。 3. 建物が大きくなるため、浅間山の眺望を阻害し保全上も負担が大きい。 4. 中央公民館の内容が決まるまで設計が完了せず、着工することができない。 1 についてです。先日も町庁舎内で歌声が響いていましたが、想像以上に職員にとっても利用者にとっても騒音でした。これについては防音措置をとるとのことですが、一般的に防音室を作る費用は高く、これを上乗せすれば B 案と C 案の建設コストの差はもっと開くはずです。 2 についてです。庁舎、議会、公民館の利用時間帯、曜日はそれぞれ大きく異なります。都心部の超高層ビルには、商業、オフィス、宿泊施設が階を変えて入居していますが、いずれもセキュリティの複雑さが、多くの警備員を必要としたり、夜間の出入り口の経路がわかりにくいなどの問題を抱えています。 3 についてです。軽井沢の建築条例に基づいて、ボリュームの大きな建物は、屋根勾配によって高さが高くならざるを得ません。浅間山の景観を生かすというコンセプトとは裏腹になり、また冬場の大屋根の雪下ろしを始め、2 階の天井高が不必要に高くなるなど、維持管理上もコストがかかります。 4 についてです。C 案であれば、ある程度既存の建物でこれまでの活動を吸収し、庁舎と一体となるところはバッファー的役割を持たすことができますが、B 案では公民館の設計が終わるまで庁舎部分は待たされることになります。それが早く庁舎を改築しなければという理由で、公民館部分を拙速で建設することになるならば、それは新庁舎周辺整備を検討する本委員会の存在を自己否定するに等しい行為のように思えます。 最後に A 案ですが、これだけ線状降水帯による豪雨が頻繁になってくると、敷地の低い南部分では、氾濫被害を避けるために高床式の建物を建てることになり、景観上も好ましくありません。 以上が、私が ABC 案を検討した結果ですが、本委員会の皆様さらに軽井沢住民の皆様が、多方面からの検討を行い、熟慮の上で計画案を採択してくださいますようお願いしております。	
④	1. 地元で庁舎及び公民館を実際に利用する機会の多い方たちが、公民館を利用し続けられるという点からも、B 案の一体型を望んでいる声が多いということがわかった。 2. B 案と C 案では、ライフサイクルコストにそれほど大きな差が出ないことがわかった。	B 案の一体型で整備するべき。その場合、面積を縮小せずに現行の計画通りに整備すべきと考える。	B
⑤	○現在分散している役場機能を一か所にまとめられないか？の意見がいっぱいあったが 現A.B.C 案の新庁舎で実現できるのか？早めの公表はできないのか？ ○バリアフリーは当然のことと思いますが 障害者用の 屋内または地下の駐車場は考慮されているのか？	○公民館のスペースについては足りないと思う ○二階大講堂については 公民館職員の負担軽減のためにも 大人数の会議や発表会のできる場所がほしい○ C 案での建設がよいのではと思う 将来的に現公民館プラス新庁舎内のスペースで余裕ができると思う	C

⑥	<table><tr><td colspan="2">1.大事だと思う観点について◎○△で評価（重み付け）</td></tr><tr><td colspan="2">コストやエネルギー性能など(定量的な要素)</td></tr><tr><td>① 建替え時の影響</td><td>◎</td></tr><tr><td>② 脱炭素社会への貢献度</td><td></td></tr><tr><td>1.CO2排出量</td><td>△</td></tr><tr><td>2.炭素の固定化</td><td>○</td></tr><tr><td>③ イニシャルコスト</td><td>○</td></tr><tr><td>④ ライフサイクルコスト</td><td>○</td></tr><tr><td colspan="2">使いやすさや快適性など(定性的な要素)</td></tr><tr><td>①国道への顔づくり</td><td>◎</td></tr><tr><td>②計画の自由度</td><td></td></tr><tr><td>1. 平面計画の自由度・柔軟性</td><td>◎</td></tr><tr><td>2. 庁舎と公民館の往来のしやすさ</td><td>◎</td></tr><tr><td>3. 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ</td><td>◎</td></tr><tr><td>4. 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ</td><td>△</td></tr><tr><td>5. 音・匂いの出る室の配置のしやすさ</td><td>△</td></tr><tr><td>③駐車場(P)の配置</td><td>◎</td></tr><tr><td>④病院との関係</td><td></td></tr><tr><td>1. 平面計画の自由度・柔軟性</td><td>◎</td></tr><tr><td>2. 病院から浅間山への眺望</td><td>◎</td></tr></table>	1.大事だと思う観点について◎○△で評価（重み付け）		コストやエネルギー性能など(定量的な要素)		① 建替え時の影響	◎	② 脱炭素社会への貢献度		1.CO2排出量	△	2.炭素の固定化	○	③ イニシャルコスト	○	④ ライフサイクルコスト	○	使いやすさや快適性など(定性的な要素)		①国道への顔づくり	◎	②計画の自由度		1. 平面計画の自由度・柔軟性	◎	2. 庁舎と公民館の往来のしやすさ	◎	3. 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ	◎	4. 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ	△	5. 音・匂いの出る室の配置のしやすさ	△	③駐車場(P)の配置	◎	④病院との関係		1. 平面計画の自由度・柔軟性	◎	2. 病院から浅間山への眺望	◎	A、B、C 案とありますが、60年後の軽井沢においてどの案が一番メリットが高いかと考えますと、 A 案については建築コストが高く、別棟で建てるので壊すまでに公民館が使用できるなどメリットはありますが、土地を幅広く使用するため何かまた新たに建築しようかという時に無駄に土地を広く使用しているあまりメリットを感じることは出来ません。 B 案について、庁舎と公民館を合わせて建築しており移動距離の無駄がなく、生産性の高い庁舎になる可能性が高いと思われます。 循環バスでも庁舎、複合施設のバス停を一つに作ることができ、足の弱い生活弱者への町民の移動手段としてもメリットが高いと思います。 現中央公民館を壊しているので駐車場も大きくとることができ、もし緊急性の高い伝染病の離れ病棟施設、仮宿泊施設、ドクターヘリのヘリポートとしても使用可能だと思います。軽井沢病院の建て替えの時にも容易に場所を確保する事ができます。 なによりも60年ぶりに庁舎周辺の道路駐車場を再配置できる条件が揃っているので活かせます、渋滞対策にもなる道路を合わせて考えて頂きたいです。 C 案について、旧中央公民館をリノベーションして再利用する案ですがこの案が一番高くつく可能性を含んだ案だと考えております。 環境負荷についてはそこまで負担はかからないかと思います。ほとんどスケルトンにして、作り直すため新築と比べ7割の負担とも言われています。新築で建てるときに建ぺい率が低くなるのでリノベーションするなどでしたらメリット効果は高いと思いますが。今回についてはその点は残念ながらありません。 コンクリートは大丈夫でもその中の鉄筋がダメになっておりやり直しなどと言う場合も想定する必要がありますので、危険な構造物を作り上げる可能性が高い。 中央公民館があった場所に再度つくるため、庁舎周辺の配置の整備ができず、無理矢理に繋げるため、庁舎と複合施設を移動するのに時間がかかります。今のように役場の方々が会議などある場合もまた移動に5分など時間がかかり生産性を落とすことになりかねません。以上が ABC 案についての意見です。 最後に1点だけありまして、時間をかけて検討することは良いのですが、あまりにも遅いので、庁舎案が出た当時の時に着工した方が一番安かったということにならないように早め早めの決断をお願いします。	B
1.大事だと思う観点について◎○△で評価（重み付け）																																											
コストやエネルギー性能など(定量的な要素)																																											
① 建替え時の影響	◎																																										
② 脱炭素社会への貢献度																																											
1.CO2排出量	△																																										
2.炭素の固定化	○																																										
③ イニシャルコスト	○																																										
④ ライフサイクルコスト	○																																										
使いやすさや快適性など(定性的な要素)																																											
①国道への顔づくり	◎																																										
②計画の自由度																																											
1. 平面計画の自由度・柔軟性	◎																																										
2. 庁舎と公民館の往来のしやすさ	◎																																										
3. 庁舎と公民館の相乗効果の生まれやすさ	◎																																										
4. 庁舎と公民館の機能区分のしやすさ	△																																										
5. 音・匂いの出る室の配置のしやすさ	△																																										
③駐車場(P)の配置	◎																																										
④病院との関係																																											
1. 平面計画の自由度・柔軟性	◎																																										
2. 病院から浅間山への眺望	◎																																										
⑦	区長会の意見を見ると、やはり公民館利用のほうが身近で関心が高いように感じた。 庁舎にしても公民館にしても、これから40年50年と使用する建物で、特に公民館は新しくなった時にはよりたくさんの利用があると思うので、内容は今後の利用の仕方を見据えての設計にしてほしいと思う。	現時点では B 案に賛成。 公民館活動が活発であると思うので、建設中は古い公民館の利用は可能にするべきだと思う。 庁舎に関しては、機能は職員の使いやすさを重視し、入口の総合案内は来庁者のわかりやすさを最優先にしてほしいと思う。 庁舎を訪れる方は SNS などを利用しない年配の方が多いと思われるので、入口を入れて迷わないようにしてほしい。 建設コストは多少かかっても仕方がないと思う。 専門的なことはよく分からないが、ランニングコストを軽減する方法でお願いしたい。	B																																								
⑧	庁舎機能に関し、保健福祉課（木もれ陽の里）の新庁舎へと思う方が一定数いるので、しっかりと考えなくてはいけないと思った。新庁舎においての執務スペースがどの程度確保できるかはこれからだと思うが、住民、特に高齢者等の届出等に関する利便性が図られる庁舎となれば良いと思う。	C案が良いと思います。 理由としては、大きな建物を一つ建てるより、今の中央公民館を改修により生かした方が、景観的にも良いと思う。	C																																								

⑨	町長の公約として庁舎周辺整備の計画見直しを取り組み、建築条件が数年前と変更が生じる中での庁舎と公民館の一体化案、現在の公民館をリノベーションする案の2つの案に軌道修正されて来たことは、コストダウンにつながる良い再検討であったとは考えているものの、昨今の物価上昇や人件費の高騰はコストダウン効果をも打ち消すほどの急激な社会情勢の変化であり、結果としてトータルコストでは下げられない事態になる事も想定されます。 ただ、今日までの大勢の住民皆さんの意見を聞き、全てとは言えないまでも民意を反映できる体制を築いてきたことは、行政と住民の関係性や地方自治にとって、とても意味のある事であると感じています。 これから基本計画、基本設計と進めていく中でも出来る限りの民意の反映を目指して取り組んでいければ良いと考えています。	現時点では、トータルコストで考えればリノベーションの C が良いと思いますが、渡り廊下の設置であったり、リノベの後の耐久年数であったり、新しく建てる庁舎よりも早く建て替えが必要になる事を考慮すれば、一体整備の B 案でもそれほどコストは変わらないのではないかと考えます。 また、B 案の一番の優位点は、庁舎及び公民館建設に伴う仮設の建物が必要がない事であると考えています。無駄な仮設建物にお金を掛けない分、環境負荷軽減のための設備であったり什器であったり、他に財源を回せる事を鑑みても、現状一番良いのは B 案ではないかと考えます。 ただ、今後基本計画を進めていく中で B でも C でもない、更なるコストカットが見込める他の案が出現した場合には比較検討の材料としては期待します。	B
⑩	建物建て替えによって公民館活動が止まってしまうことを危惧する人が少なくなく、加えて、工期の早まった公民館についての意見の場を求めているように感じました。 庁舎に関しては「役場職員が働きやすいように」という意見が今回も出ているように、基本的には職員からの意見をもとに良い形を考えてもらい都度説明を行われると良いのでないでしょうか。 区長会意見では「早く進めてもらいたい」という強い気持ちが表れた意見もあり、限られた時間の中でどのように意味のある意見聴取を行うかが、今後重要と考えます。住民への意見聴取は公民館機能を主に行之、庁舎に関しては窓口の形状や配置など住民が利用する設備について意見を聞く、など、整理して実施される必要があると思いました。	公民館活動を止めないこと、を重点におくと、B 案が良いのではと考えます。保全コストが低く、人の流れができ、交わりが作られることもプラスの要素であり、貸し館機能だけではない公民館機能も生まれるのではと期待できます。 ただ、これから建つ軽井沢町の施設として、環境面も無視できないです。その点からいうと、C 案が良いのですが、C 案で作っていく際には現時点での不確定要素が多いと感じます。中央公民館がリノベーション工事に入った時に代替の活動場所が確保できるのか、そして公民館のリノベーションはどの程度可能なのか（間取りの大幅変更は可能なのか）、ということです。前者は公民館活動の継続、後者は工事後の使い勝手に関わってきます。 公民館活動を止めないために区の公民館（分館）利用を促進したり他施設の協力を仰いだりする、庁舎会議室との共有を可能にする、などの運用で負の面をカバーでき、間取りも使い勝手よく設計してもらえて問題ないということであれば、C 案がより良いと思います。	B (C)
⑪	区長会など、昔から地元に根付いた方々の意見は重要と思います。建築コストよりは、使いにくさや手狭さなど実際に現状を理解しているうえでのご意見が多いと思いました。住民にとって利用しやすい庁舎、公民館機能拡充施設をより早く整備したいです。 ただ、庁舎よりは、公民館機能拡充施設の方が住民は身近だと思いますので、庁舎の様に色々なご意見を取り入れて使いやすい施設になればいいと思います。（ご意見を聴いたりして、全体的に建築時期が遅れるのはどうかと思いますが…。）まちづくりとしても重要な施設ですので（住民との協働によるまちづくり＊コミュニティセンター的な＊）、できるだけ関わっていきたくと思っています。	B 案押しです。 ポイントとして、ご意見が多い公民館活動を止めることなく整備できることと、一体となることにより、次の建て替え時にも全体計画として準備・検討が進められるからです。	B
⑫	・現在複数個所に分散している町施設を集約してほしいという意見が多数出ている。窓口が1か所で様々な手続きが完結することが重要と考える。さらに可能であれば（エレベーター等があったとしても）窓口が1階、2階に分かれることなく1フロアで移動できるとベストだと思う。 ・まず金額ありきではなく、使い勝手を重視する検討方法に賛成である。	・公民館については、日常的な利用はもちろんのこと、災害時の避難施設としての利用を最優先に考えてほしい。C 案の場合は現公民館を改修するという事で、様々な制限ができてしまうのではないかと心配している。その点で建替えを行う A 案、B 案は、より自由度の高い設計が可能なため、使い勝手や避難施設としての機能を追求できると考える。 一方で C 案については日常的な利用に絞って考えると、音やにおいの問題が解消できることやプライバシーに配慮した利用ができることがメリットである。避難施設としての利用を考えたときに、別棟であることでメリット・デメリットのどちらが勝るか皆さんの意見をお聞きたい。	—

⑬	区長会意見に限らず、意見を多く出していただく事により、不採用となる意見の数が多くなる。採用する意見をどのように抽出したのか、なぜ不採用になったのかを説明できる対応が必要であると感じる。	B 案が良いと考えます。 建築面積が少なければ建築費が安価になると建築面積が小さいことにより、維持管理面からも有利になると考えられるため。C 案はB 案と面積が同等であるが、分棟のため B 案より維持管理面で不利であると推測されます。	B
⑭	庁舎の機能、規模、公民館機能拡充施設、建物、外構、コスト面、事業全般について貴重な意見を頂けたと思います。 区長は地域住民の代表ですので、コスト面、公民館機能等の意見が多いと思いました。	世の中の形態が多様に変化してきている中で庁舎の職務スペースはどのようにしたら良いのか、どのようにしたらいいのか、考えますが答えが見つかりません。 DX が進んで行く中でも住民の皆さんに優しく対応できる庁舎であって欲しい。 公民館機能拡充施設について、こちらは利用者（住民）の意見を反映できる施設にすべきと思います。 また、災害が起きた時には避難所、防災拠点となるような機能も必要です。 その様な事も含め私はB 案が良いと思います。	B
⑮		B 案 建設中も含めて、役場の会議室確保及び工事中の公民館利用者への影響度低減には配慮が必要と考える。 また、役場の耐震化工事もそうであったが、数年後（十数年後）に大きな改修や建替えの時期を迎えてしまうのであれば、最初から経費を投入して建替えた方が、ライフサイクルコストも抑制できると考える。	B
⑯	区ヒアリングに DX 推進係も同行させていただきましたが、その中で最も意見が多かったのは、費用をかけてもいいから長く使用できみんなが利用しやすい庁舎（公民館機能）の建設をしてもらいたいとのことでした。中央公民館の大規模改修は、柱の耐用年数に対する疑問が多いことなどの意見もあることから庁舎公民館機能の立て直しを検討した方が良いと思いました。	DX 推進を含めた事で考えると現在のシステム環境移転や新たに新庁舎（公民館機能）に採り入れる窓口や会議室などのシステムにかかるコストを意識すると同じ場所で導入することができる B 案が良いと思いました。	B
④	なし	なし	—
⑰	区長会の皆様、さまざまな方向からご意見をいただき、ありがとうございます。大変参考になりました。 【全体的に】 多岐に渡る「使い手」にとって、大局を失わず、しかし目端が効いたビジョンを基本計画に反映させる一方で、時間・コスト（イニシャル、ランニング）の現実面での折り合い地点を設計者・施工者（時間、コスト的に適正なのか）交えて並行して議論を進めていく必要があると感じています。 【公民館・分館】 特に現状の公民館の用途（歴史的成り立ち含め）が、同時代性を反映できていない点をご意見の中にも多々感じました。公民館である以上法律的に不可能なことの理解が、みなさんにどのぐらいあるのかわからないのですが、都内や地方都市でイベントプロデュースをしてきた立場としては、公民館分館と中央公民館の仕組みは最低限維持すべきものの、良い意味で縮小化し、コミュニティ施設として時代にあった可変可能な仕様を議論する方針の方に重きをおいて整理すべきと考えます。	上記さまざまな意見も踏まえて、最終的な判断としては一体型のB 案と考えます。 ・起債については問題ないと考える。（額をより少なくすることの努力は必要だが） ・既存中央公民館リノベーションについては、防音や断熱ができていない、そして飲食不可（キッチンがあるにもかかわらず、運用ルールとその施設設備のあり方に齟齬や運用も任命された館長判断によるなど運営面で理解に苦しむグレー面がある。そのため、利用率が低い実態がデータからも読み解ける）など、ハード、ソフトともに整理されるべき課題がある。それを分棟案を実施してから考えるのでは遅い。一体案として、改めて公民館＋コミュニティセンター施設はどうあるべきか考えた上で、確かに最終的に分棟も考えられるが、たとえ設計士の力量があっても、建物の状態によってはスケルトン状態になる可能性、そして分棟によるセキュリティや光熱費などの運用面、DX 化や耐震に伴うコストアップなども想定されるので、議論を進めるためにもまずはB の一体案とすべき。 ・一体案とすることで、動線、駐車所含めて、今後の病院のあり方の検討にもつながり、まちづくり、都市計画としての無駄がないと考える。 ・一体化する場合の条件としては光熱費などのランニングがかからない、空間機能として転用が可能、障害のある方への配慮・工夫があり、当事者だけでなく、あらゆる人が未来にも通じる感性、「居心地の良さ」という福祉を含めて考える、と、懸念点を明文化し、おきざりにしないことを端的に伝え続け、そのサービスを受けることができていると実感することで、あらゆる納税者の皆様の納得感も得られるのではないかと考える。	B

公民館分館の利用率がどの程度なのかデータが出ていませんが、少なくとも、とある別荘地の分館においては極めて使用率が低いと感じましたし、老朽化も目立ちます。（区長さんが維持につとめてくださっているにもかかわらず）分館は、例えば、防災グッズや備蓄食料などの倉庫に転用させても良い場所もあるでしょう。あるいは、民間が運営に入ることでもカフェや地域の人のサードプレイスになることも可能でしょう。ソフトにおいては民の力をうまく利用して官がハード面で支えるなど、分館の利用価値はその区に合わせて設計するなど柔軟なアイデアをいずれ議論しても良いのではないかと考えます。（PPP と PFI） また、DX 化が進むことで庁舎機能が縮小化され、オンデマンドタクシーではないですが、役場機能が巡回バスとして運行されることさえ想定されえます。例えばそれまでの期間、分館がその中間の役割をを担うこともありえそうです。 【庁舎】 私も分散している機能を1つにまとめることは必須だと感じています。そして、訪れる人以外にも役場で働く職員の福祉も考える必要があります。 その意味でも庁舎は機能的でありさえすれば良いというものでもないと考えています。 いずれ DX 化が進み、庁舎機能が縮小されることになっても、交流人口含めたこの地を楽しみたいと考えている人々の文化的・情操教育的発信や体験・研鑽の場と変容できるような設計計画となっていれば、柔軟な運用によって世代を超えて長く重宝されることと改めて感じています。ここの運用に民間が入れることも大切です。（PPP と PFI） 【防災】 実際に全町民がこの1か所に避難することはないと思いますが、ここに避難したほうが「良い」とセグメントされる人々は一定数いるでしょう。そういったシミュレーションが必要になってくると思います。 そのうちの一つとして、ぜひ今後の方針ポイントして検討すべきと考えているのですが、障害のある方が普段から行き慣れているところを避難先として利用できることです。 今回の能登でも北陸地方の障害者施設のスタッフがかなり奔走されていたと聞いています。 一方で、「奇声をあげている・行動が普通ではない」といった、他の避難者からの障害に対する無理解に苦しむことのないような日常的・包括的な取り組み・仕組みにも全国の地方自治体の中でも先駆けて取り組まれることを望んでいます。新設された中央公民館＋コミュニティセンターが、そう言った方達の行き慣れた場所であれば、そこが彼らの、そしてそのご家族や福祉職員の方の防災拠点となりうるでしょう。併設の病院もあり、医療的ケアも担保されます。もしくは、庁舎機能がひとつに統	
--	--

	合されることで「木もれ陽の里」に空きスペースができることで、障害のある方やご家族が安心して避難する拠点に転用することも可能となるでしょう。民間との協力も可能なように事前に協定を結んだりして、税金の一部を利用することも一町民としてはやぶさかではないことも申し添えさせていただきます。ご高齢やご病気で闘病中の方など、行政的な意味での障害者ではないですが、ある意味障害のある立場でもあります。「あなたもわたしもいずれ障害者になりうる」ということを考えたまちづくり、その視点も反映できたらと考えています。	
⑱	保健福祉課、教育委員会を役場の中にあるという意見があり、やはり同じ庁舎内で手続きが済まないという事を改めて感じました。職員の使いやすさですが、来庁者の方の利便性を高い庁舎になればいいと思います。	B案。 町民の方が、長期間使用できなくなる事を考えると、公民館活動も止めずに利用できる。C案もいいですが、どの程度のリノベーションをするのかによっては悩ましい。公民館活動がB案の一体型になった際には、セキュリティ面や、災害時の防災拠点での使用を考えると心配が残る。 冬場の降雪等を踏まえた対策は必要だと思う。

「整備方法（一体化案・分棟案・公民館改修案）」に関する意見 庁舎改築周辺整備事業推進委員からの意見の整理

【庁舎機能】

（使いやすさ・分かりやすさ）

- ・届出等に関する利便性が図られる庁舎となれば良い。
- ・機能は職員の使いやすさを重視し、入口の総合案内は来庁者のわかりやすさを最優先にしてほしい。
- ・窓口が1か所で様々な手続きが完結することが重要。さらに、窓口が1階、2階に分かれることなく1フロアで移動できるとベスト。
- ・DXが進んで行く中でも住民の皆さんに優しく対応できる庁舎であって欲しい。
- ・訪れる人以外にも役場で働く職員の福祉も考える必要がある。
- ・職員の使いやすさもありますが、来庁者の方の利便性を高い庁舎になればいい。

（機能集約）

- ・庁舎機能に関し、保健福祉課（木もれ陽の里）の新庁舎へと思う方が一定数いるので、しっかりと考えなくてはいけない。
- ・保健福祉課、教育委員会を新庁舎に集約する検討の必要がある。
- ・分散している機能を1つにまとめることは必須。

（施設）

- ・バリアフリーは当然のこと。

【公民館機能拡充施設】

（施設の考え方）

- ・整備方法よりもまず、公民館機能拡充施設の使いやすさ、全ての人の憩いの場所、生涯学習の場所、健康増進の場所として何が必要なのか？子育て支援も含め、防災の避難場所として公民館施設の整備は必要であり、安心安全に暮らせるように、町全体の公民館も含めてすべての人が利用しやすい整備を検討していただきたい。
- ・公民館機能拡充施設の方が住民は身近だと思うので、庁舎の様に色々な意見を取り入れて使いやすい施設になればいい（ただし、意見聴取により、全体的に建築時期が遅れるのはどうかと思う。）。
- ・公民館機能拡充施設について、利用者（住民）の意見を反映できる施設にするべき。
- ・分館の利用価値はその区に合わせて設計するなど柔軟なアイデアをいずれ議論しても良いのではないか。
- ・公民館分館と中央公民館の仕組みは最低限維持すべきものの、良い意味で縮小化し、コミュニティ施設として時代にあった可変可能な仕様を議論する方針の方に重きをおいて整理すべき。

（工事中の活動）

- ・建設中は古い公民館の利用は可能にするべき。
- ・建設中も含めて、役場の会議室確保及び工事中の公民館利用者への影響度低減には配慮が必要。
- ・町民の方が長期間使用できなくなる事を考えると、（B案だと）公民館活動も止めずに利用できる。

（諸室等）

- ・公民館のスペースについては足りない。
- ・二階大講堂については 大人数の会議や発表会のできる場所がほしい。

【老人福祉センター】

（施設廃止）

- ・老人福祉センターの今後の施設について説明が必要。

【建物・外構等】

（環境）

- ・今の中央公民館を改修により生かした方が、景観的にも良い。
- ・「環境都市」としての矜持を保つには、スクラップ&ビルドは選択すべきではない。

（駐車場）

- ・（B案の場合）駐車場も大きくとることができる。
- ・障害者用の屋内または地下の駐車場は考慮されているのか。

【交通】

（交通弱者対応）

- ・（B案の場合）循環バスでも庁舎、複合施設のバス停を一つに作ることができ、足の弱い生活弱者への町民の移動手段としてもメリットが高い。

（渋滞）

- ・渋滞対策にもなる道路を合わせて考えて頂きたい。

【防災】

（防災の考え方）

- ・公民館については、日常的な利用はもちろんのこと、災害時の避難施設としての利用を最優先に考えてほしい。
- ・障害のある方が普段から行き慣れているところを避難先として利用できることは、今後の方針ポイントとして検討すべき。
- ・避難施設としての利用を考えたときに、別棟であることでメリット・デメリットのどちらが勝るか皆さんの意見を聴きたい。
- ・（公民館機能拡充施設は）災害が起きた時には避難所、防災拠点となるような機能も必要。

（各区の機能強化）

- ・（各区について）浅間噴火よりもはるかに発生確率が高い土砂災害に対する地域の態勢作りについて、大きな課題が積み残しされていないか。「地区の公民館」に備蓄できる環境づくりが求められる。

（対策）

- ・冬場の降雪等を踏まえた対策は必要。

【コスト】

(コスト抑制)

- ・どの案にしても、起債前提であり、50億以上借金を若い世代に負担していただく施工は、賛成できない。
- ・中央公民館をリノベーションしたら、解体して新築するより安価で済むはず。
- ・B案とC案では、ライフサイクルコストにそれほど大きな差が出ないことがわかった。
- ・ランニングコストを軽減する方法でお願いしたい。
- ・早く建て替えが必要になる事を考慮すれば、一体整備のB案でもそれほどコストは変わらないのではないかと。また、B案の一番の優位点は、庁舎及び公民館建設に伴う仮設の建物が必要がない事。
- ・「機能的・コンパクトな施設計画により、建設コストを抑制すること」を挙げたい。
- ・数年後（十数年後）に大きな改修や建替えの時期を迎えてしまうのであれば、最初から経費を投入して建替えた方が、ライフサイクルコストも抑制できる。

(内容重視)

- ・建設コストは多少かかっても仕方がない。
- ・金額ありきではなく、使い勝手を重視する検討方法に賛成。

(起債)

- ・起債については問題ないと考える（額をより少なくすることの努力は必要だが）。

【スケジュール】

(スピード感)

- ・40億の予算内で庁舎に関しては、できるだけ早く施工してほしい。
- ・住民にとって利用しやすい庁舎、公民館機能拡充施設をより早く整備したい。

【事業全般】

(整備手法（ABC案）)

- ・B案について、庁舎と公民館を合わせて建築しており移動距離の無駄がなく、生産性の高い庁舎になる可能性が高い。
- ・（C案の場合）役場の職員が会議などある場合、また移動に5分など時間がかかり生産性を落とすことになりかねない。
- ・意見が多い公民館活動を止めることなく整備できることと、一体となることにより次の建て替え時にも全体計画として準備・検討が進められることから、B案押し。
- ・公民館活動を止めないことを重点におくと、B案が良い。保全コストが低く、人の流れができ、交わりが作られることもプラスの要素であり、貸し館機能だけではない公民館機能も生まれるのではと期待。
- ・建築面積が少なければ建築費が安価になると、建築面積が小さいことにより維持管理面からも有利になると考えられるため、B案が良い。
- ・C案はB案と面積が同等であるが、分棟のためB案より維持管理面で不利であると推測する。
- ・公民館機能拡充施設は、利用者（住民）の意見を反映できる施設にするべきであり、また、災害

が起きた時には避難所、防災拠点となるような機能も必要であることから、B案が良い。

- ・以下の理由から、C案を選択すべき。

メリット：1. より環境に優しい 2. よりコストがかからない 3. より将来の自由度が高まる)

デメリット：1. 改修工事中公民館が利用できない 2. 庁舎（＋一部の公民館機能）と公民館が分離されてしまう 3. 改築庁舎と改修公民館の建物の一体感が生まれない

B案のデメリット：1. 音や匂いが出る施設は同居しにくい 2. 庁舎だけでなく議会棟とも同じ建物になるため、両者のセキュリティが難しい 3. 建物が大きくなるため、浅間山の眺望を阻害し保全上も負担が大きい 4. 中央公民館の内容が決まるまで設計が完了せず、着工することができない

- ・リノベーションについては、防音や断熱ができていない、そして飲食不可など、ハード、ソフトともに整理されるべき課題がある。

（計画全体）

- ・面積を縮小せずに現行の計画通りに整備すべき。
- ・一体案とすることで、動線、駐車場含めて、今後の病院のあり方の検討にもつながり、まちづくり、都市計画としての無駄がない。

【意見聴取】

（意見聴取の頻度）

- ・時間をかけて検討することは良いが、あまりにも遅い。
- ・これ以上の検討会は必要ない。
- ・限られた時間の中でどのように意味のある意見聴取を行うかが今後重要。
- ・（庁舎については）職員からの意見をもとに良い形を考えてもらい、都度説明を行われると良いのでないか。

（意見の反映）

- ・意見を多く出していただく事により、不採用となる意見の数が多くなることもあるので、採用・不採用に関わらずその理由を説明できる対応が必要。

（賛辞）

- ・民意を反映できる体制を築いてきたことは、行政と住民の関係性や地方自治にとって、とても意味のある事である。

【情報発信】

（発信の工夫）

- ・推進委員会での議論が周知されておらず、情報の共有が必要であり区民の皆様からの疑問には、返答をしっかりといただきご理解いただきたい。

No.	1 建替 え時の影 響	2－1 CO2 排出 量（脱炭 素社会へ の貢献 度）	2－2 炭素の固 定化（脱 炭素社会 への貢献 度）	3 イニ シャルコ スト	4 ライ フサイク ルコスト	1 国道 への顔づ くり	2－1 平面計画 の自由 度・柔軟 性（計画 の自由 度）	2－2 庁舎と公 民館の往 来のしや すさ（計 画の自由 度）	2－3 庁舎と公 民館の相 乗効果の 生まれや すさ（計 画の自由 度）	2－4 庁舎と公 民館の機 能区分の しやすさ （計画の 自由度）	2－5 音・匂い の出る室 の配置の しやすさ （計画の 自由度）	3 駐車 場(P)の配 置	4－1 平面計画 の自由 度・柔軟 性（病院 との関係 性）	4－2 病院から の浅間山 への眺望 （病院と の関係 性）	新たな視点や、自分の考えを自由記述
1	△	不明	不明	不明	不明	△	△	△	不明	不明	不明	△	△	△	庁舎、公民館、病院全てのロータリー及び駐車場の出入り口が、一本の道路に面しているように見えるが、病院は、迂回道路から駐車場に入れるのかよくわからない。混雑時の考慮されてるいるのだとは思いますが、どうなんでしょう。 当然、利用者数、交通量調査などしてあり、専門家が右左折規制などシミュレーションしていると思うので念のための意見です。
2	◎	◎	◎	△	◎	○	○	△	△	◎	◎	◎	◎	◎	公民館や役場は災害時には観光客の一時避難場所となることも考えられる。 軽井沢は近年日帰り観光客も増加しており、万が一何らかの災害が発生し新幹線等が長期に普通になった場合など一晩以上滞在せざるを得ないことも考えられ、公民館はきちんと新築した方が良い。 軽井沢は北海道並の寒さであり、冬の暖房費用やCO2削減も考えてすべての窓やドアを高断熱にするべきだと思う。 公民館は民間にもう大きく開放し、色々なイベントができる場にしたい方が良い。 (いわゆる昔ながらの公民館とは一線を画した高原リゾート地軽井沢らしい公民館を目指すべき
3	○	◎	○	◎	◎	△	○	○	○	○	◎	○	○	△	機能（住民サービス提供に便利）と耐震性を考えイニシャル及びランニングコストの低いものを選ぶ。病院からの浅間山の眺望、庭園などは考えなくてもよい。
4	△	不明	不明	○	○	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明	・現在の中央公民館は建替えが必用。大講堂は100名が30分以上居るとCO2濃度が上昇し、眠くなり、気分が悪くなる。換気設備が不十分。また通路をはさんだ北側の居室は冬はいくら暖房をしても温まらない。断熱設備がほぼない。築年数からも現在の建築設備の改修では町民が安心して利用できる建物ではない。形はどうあれ新築することが必用。

整備方法（ＡＢＣ案）に関するパブリックコメント 意見整理（カテゴリーごと）

【公民館機能拡充施設】

（施設の考え方）

- ・ 公民館は民間に大きく開放し、色々なイベントができる場にしたい方がよい（いわゆる昔ながらの公民館とは一線を画した高原リゾート地軽井沢らしい公民館を目指すべき。）。

（整備手法（ＡＢＣ案））

- ・ 大講堂は100名が30分以上居ると CO2濃度が上昇し、眠くなり、気分が悪くなる。また、通路をはさんだ北側の居室は冬にいくら暖房をしても温まらない等の理由から、現在の中央公民館は建替え（新築）が必要である。築年数からも現在の建築設備の改修では町民が安心して利用できる建物ではない。

【建物・外構等】

（環境）

- ・ 軽井沢は北海道並の寒さであり、冬の暖房費用や CO2削減も考えてすべての窓やドアを高断熱にするべき。

（駐車場）

- ・ 庁舎、公民館、病院全てのロータリー及び駐車場の出入り口が、一本の道路に面しているように見えるが、病院は、迂回道路から駐車場に入れるのかよく分からない（専門家コミュニケーションしていると思うので念のための意見）。

【防災】

（考え方）

- ・ 公民館や役場は災害時には観光客の一時避難場所となることも考えられることから、公民館はきちんと新築した方がよい。

【コスト】

（コスト抑制）

- ・ 金額抑えてほしい
- ・ 機能（住民サービス提供に便利）と耐震性を考え、イニシアル及びランニングコストの低いものを選ぶ。

【事業全般】

(考え方)

- ・ 病院からの浅間山の眺望、庭園などは考えなくてもよい。

無作為抽出意見交換会（11/9） タイムスケジュール

タイム スケジュール	内容	時間配分
9 : 00～9 : 10	役場庁舎 1 F フロア 見学	10 分
9 : 10～9 : 25	○オリエンテーション ・自己紹介 ・本会の目的とゴール	15 分
9 : 25～10 : 30	○庁舎改築周辺整備事業の経緯について 1 ・事業の目的（なぜ建て替えるのか？） ・検討の経過 1（見直し前） ・各種委員会（何を検討したか？） ・住民参画（どんな意見があったか？） ・予算（どのくらい使ったか？） ・基本方針（内容ダイジェスト） ・プロポーザル ・基本計画（山下三浦 J V） ・基本設計（山下三浦 J V） ・ここまでの質問	65 分 (4 分) (4 分) (3 分) (3 分) (3 分) (3 分) (5 分) (15 分) (15 分) (10 分)
10 : 30～10 : 40	休憩	10 分
10 : 40～12 : 00	○庁舎改築周辺整備事業の経緯について 2 ・検討の経過 2（見直し後） ・見直し方針 ・推進委員会（どんな議論をしているか？） ・住民参画（どんな意見があったか？） ・基本方針 ・A B C 案（山下三浦 J V） ・公民館の考え方（生涯学習課） ・ここまでの質問	80 分 (5 分) (5 分) (5 分) (5 分) (15 分) (15 分) (15 分) (15 分)
12 : 00～13 : 00	昼食	60 分
13 : 00～13 : 15	テーマ決め ・グループ分け（7 グループ）、机の配置換え ・自己紹介	15 分
13 : 15～14 : 35	○グループワーク①（テーマごとに意見交換） ①事業費・建設費、②公民館機能拡充施設、 ③環境性能、④情報発信、⑤軽井沢らしさ、 ⑥他施設の活用、⑦その他(何でも)	80 分 ※10 分×7
14 : 35～14 : 45	休憩	10 分
14 : 45～15 : 15	発表	30 分
15 : 15～15 : 30	グループワーク② ・A B C 案について意見交換	15 分
15 : 30～15 : 45	発表	15 分
15 : 45～16 : 00	○総評（山下三浦 J V）	15 分